

SEEDS meeting 26-12-2001

東京大学農学生命科学 3 号館会議室

2001 年 12 月 26 日

参加: 津田敦、齊藤宏明、西岡純、津旨大輔、芳村毅、野尻幸宏、今井圭理、青野辰雄、野入善史、宗林由樹、日沼公、鈴木光次、山中康裕、小埜恒夫、清沢弘志、深見公雄

記録: 齊藤宏明

## 1. ORI Symp 以降の進展

津田敦 netzoopl の顕鏡は約半分、GutPig は終了

武田 TEP 水は終了、トラップは今週末に行う予定。有機錯体鉄はもうすこし。

芳村 溶存有機物 DOC, DON はまだ未定。東大小川さんが帰ってからなので 4 月以降 (?). DOP は終了、増えたがたいしたことない。

野尻 pCO<sub>2</sub> 終了、D13-14 の補正は鶴島の測定後、(1 月?) D11 程度までは OK

トラップは鉄 MnZn の沈降量がこれから。Si はほぼ確定だが、少し変わるものもあるかもしれない。POC, PON は Out のトラップと 200m がでた。フラックスの 13C と 15N が出る予定。DMS とハロカーボンも終了。

今井 基礎生産終了。DIC は実測値で計算しなおす。

津旨 SF<sub>6</sub> のずれの問題。図は今までのデータで OK ではないか。最初の日には SF<sub>6</sub> が underestimate されている。3 日後以降はぬけていく(過去の報告よりやや早い? 混合層の深さで補正できる?)。SF<sub>6</sub> 鉛直データが必要 関総、4 月以降。

西岡 パッチ内鉄収支のために 沈降量(鉄と SF<sub>6</sub>)が必要。トラップ鉄は OSM には間に合わない。

野入 船上培養と窒素とり込み。Urea のとり込みはこれから(トラブル中)。従って f-ratio は暫定値。

宗林 濾過と未濾過のサンプルのうち、濾過したものは濃縮終了測定。未濾過は濃縮はできていない。濾過はカドミウムができたので近いうちに配布。南極の時はカドミだけは減ったが銅や ZnMn は減っていないはず。

清沢 InOUt 鉛直を中心に行なっている。優占種上から 5 種は船上のサンプルは OK。持ち帰ったものはアグリゲートの問題がある。それ以下の優占種は 1 月末。蛍光(ピコ、シアノ)サンプルは現在行っている。培養関係サンプルの顕鏡は実行中。InOut に加えて表層 5m のデータも使うことによって growth rate を出す予定。

青野 export flux をまとめている段階。海洋学会発表予定。この後野尻 - 青野で激論。津田 - 基本的にはどんどん発表して欲しい。

小埜 DIC 確定。アルカリ度 1 月中。

齊藤 クロロフィルはターナーと HPLC で差があった。おそらく未同定 chl 分解産物の影響。

確定値は送付済み。

山中 藤井 野尻ポスドクとなる。来週から。化学を中心にして欲しい。吉江が D 論後少して終了。2月からモデルにはいる。生物中心に行く予定。

深見 バクテリア、鞭毛虫の数 マイクロバイアルループに流れるエネルギー量を行う。

鈴木 HPLC ターナーとは違いがあった。カナダのバック実験とは違う。クロロフィル分解物がかかなり多い。FRRF FvFm は確定。その他はまだ時間がかかる。FCM dilution 終了。バイオマスは 2 - 3 月。鉄添加後 pico はへっている。(1 オーダーくらい減っている)バクテリアはまだ時間がかかる。Underway の FvFm の解釈はまだ。

## 2. OSM

別紙

## 3. 海洋学会発表

発表予定者 西岡 津旨 野入 工藤 谷 宗林 青野 齊藤 清沢 今井 野尻 日沼 fvf<sub>m</sub> 津田(イントロ) プログラムは テーマ 鉄散布 として鉄散布セッションを作る。武田が並べる。タイトルに SEEDS を入れる。締め切りは 1 月 11 日

## 4. 来年度航海

開洋丸は確保 観測は約 10 日間 カナダは 2 船 Tully(プロペラ、クリーン) El Puma(実験・大気) アメリカはファンド落ちた。

開洋丸は 7 月 27 日 ダッチハーバー 8 月 14 日 ビクトリア

鉄散布 7 月 7 日 Tully 観測終了 7 月 23 日 ElPuma は 7 月 28 日終了。今の予定では開洋丸定点着が 8 月 1 日(?) できれば Tully と現場でかななるようにできないかとの要請があった。そのための変更は可能と推定される。

できれば Tully と重なるよう努力する。

乗船 津田敦 齊藤宏明 武田 小埜 西岡 芳村 野尻 工藤 野尻 EEF2 人(?) 学生を乗り込ませるか? 北大から 2 人?

パラメーター SF<sub>6</sub> は瓶詰め。pCO<sub>2</sub>。クロロフィル。DIC。植物固定サンプル。鉄(各種)。栄養塩。DMS は保存でいずれにしても取る。DOCNP。POCN.BSi トラップ。FRRF(落とすこともあり)。Dilution は落とす候補。トリウム。

今年の水産庁旅費では乗れるは津田敦のみ。

機材の乗せかた

魚倉は使えない。ハーフコンテナ。飼育室。

5. 地球環境研究推進費 今年は減額はなさそう。総額 4500 万程度。今年は関総の 1100 万程度がなくなるのかなり余裕。

今年度のサンプルでまだ測定していないもの(eg. SF6 discrete sample, phytopl.). 備品(アクトラック、GPS プイ 2 個)。外国旅費。人件費。EFF。希望があれば早めに津田に要求すること。

H15 年度の船を何らかの形で確保する。またはその準備を行う。若鷹丸。(北光完成は 16 年度なので H15 までは無理)。蒼鷹丸も少しずつ交渉中。

#### 6. writing

現在 N 誌 Letter を準備中。図 1 はコンタマップ。ネガティブフィードバックにも言及する必要があるのでは。図 2 の鉛直は必要か？ Oceanography 以外は興味ないからいらない？

来年の 5 月くらいを目標に論文を書くよう努力する。鉄西岡、炭酸系野尻小埜、生物応答バジェット 武田、マイクロゾー齊藤宏明 メソゾー津田敦、工藤 - 鉄水温を 1 月までに投稿する。投稿雑誌はおまかせ(西岡鉄と宗林金属は N 誌しぱり(?))

藻類学会国際大会 at Tsukuba 清沢考慮中。論文、学会発表、雑文、新聞記事は津田敦に集める事。

#### 7. other

清沢 D4 でもクロロフィルをとっているのそれで図をつくれないうか。

Ch.deblis のカルチャーを 2 - 3 箇所 keep する必要がある。各種パラメーターを取る必要性。環境研コレクションを探す。